

平成29年度食品健康影響評価技術研究の追加公募課題について

平成29年度食品健康影響評価技術研究として、以下の課題について追加公募を行う。

○公募課題：食品用器具・容器包装に用いられる合成樹脂のリスク評価における溶出試験法に関する研究

【研究の概要】

食品用器具・容器包装に用いられる合成樹脂のリスク評価における溶出試験法の開発を行うことを目的とする。具体的には、欧米の最新の溶出試験法ガイドラインを踏まえたうえで、以下のような課題について検討し、溶出試験法を作成する。

- ・ 乾燥食品に対する試験条件の検討
乾燥食品に対する溶出試験法の確立と乾燥食品の適用範囲等の検討
- ・ 脂肪性食品に対する試験条件の検討
食品擬似溶媒である食用油・オリーブ油に対応する代替溶媒を用いた試験条件（温度及び時間等）の検討
- ・ 食品との接触期間が長期間に渡ると想定される製品に対する試験条件の検討
長期間保存における溶出量を予測するための加速試験条件（温度、時間等）の検討

【研究の背景】

現在、厚生労働省において、器具・容器包装に用いられる合成樹脂について、ポジティブリスト制度（リスクを評価し使用を認めることとした物質以外は原則使用禁止とするという考え方）の導入（平成30年法案提出予定）が検討されている。これに伴い、食品に移行する溶出物質（原料物質や製造過程で生成される物質）を摂取した場合のヒトへのばく露影響等のリスク評価のため、溶出試験法を含むリスク評価方法の速やかな整備が求められている。したがって、リスク評価方法の要素となる溶出試験法について検討するものである。

（参考）

- ・ 「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会 取りまとめ（平成29年6月16日厚生労働省）」
<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzendu/000167994.pdf>
- ・ 「食品の安全性の確保のための研究・調査の推進の方向性について（平成22年12月16日食品安全委員会決定）」
http://www.fsc.go.jp/chousa/kitei_index.data/1_kitei_suishin_hokosei.pdf
- ・ 「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題（平成29年度）（平成28年9月13日食品安全委員会決定）」
http://www.fsc.go.jp/chousa/yusen_kadai_index.data/yusen_kadai_29.pdf